

安全データシート

改訂日: 2023年10月16日

1. 製品及び会社情報	
製品名	安息香酸カリウム
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (06)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	01235
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	全ての項目で「区分外」、「分類対象外」又は「分類できない」
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし
GHS分類に該当しない他の危険有害性	該当情報なし
重要な兆候及び想定される非常事態の概要	該当情報なし
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	安息香酸カリウム
化学式又は構造式	$C_6H_5COOK \cdot nH_2O$
CAS RN	582-25-2
成分及び含有量	安息香酸カリウム 乾燥後98%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(3)-1272、(3)-1293
GHS分類に寄与する不純物及び安定化合物	該当情報なし。
4. 応急措置	
吸入した場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。
	眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。
	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	該当情報なし。
応急処置をするものの保護	該当情報なし。
医師に対する特別な注意事項	該当情報なし。
5. 火災時の措置	
消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状注水
特有の危険有害性	加熱されると分解して、腐食性及び/又は毒性の煙霧を発生するおそれがある。
特有の消火方法	移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
	消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。
	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
	関係者以外の立入りを禁止する。
	密閉された場所に立入る前に換気する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	回収・中和: 漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。
	封じ込め及び浄化方法・機材: 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
	二次災害の防止策: プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
	取扱い後はよく手を洗うこと。
	飲み込まないこと。
	皮膚との接触を避けること。
	眼との接触を避けること。
	粉じん、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

接触回避 衛生対策	該当情報なし。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管 安全な保管条件	保管条件: 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙。 冷所、換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉して保管すること。 ポリプロピレン
容器包装材料	
8. 暴露防止及び保護措置 管理濃度 許容濃度 日本産業衛生学会 ACGIH 設備対策	未設定 未設定 未設定 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体の保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な眼の保護具を着用すること。 適切な呼吸器保護具を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質 物理的状態、形状、色など 臭い 臭いの閾値 pH 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 引火点 蒸発速度 燃焼性 燃焼または爆発範囲の上限・下限 蒸気圧 蒸気密度 比重(相対密度) 溶解度 n-オクタノール/水分係数 自然発火温度 分解温度 粘度(粘性率)	白色～ほとんど白色の結晶～結晶性粉末 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 330.6°C 464.9°C 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 水: 556g/L(20°C) logPow = -2.269 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。
10. 安定性及び反応性 反応性、化学的安定性 危険有害反応可能性 避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。 法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。
11. 有害性情報 急性毒性	経口: ラットのLD50値として、>10,000 mg/kg の報告 (SIDS (2004)) に基づき、区分外とした。 経皮: データ不足のため分類できない。なお、SIDS (2004) では、本物質の遊離酸の安息香酸 (CAS: 65-85-0) でカテゴリ評価がされており、安息香酸のウサギのLD50値として、> 2,000 mg/kg の報告がある。SIDS (2004) には、本物質はカリウム塩であるため、その酸性度は安息香酸よりも減少し、毒性が低下するはずであるとの記載がある。 吸入: ミスト GHSの定義における固体である。
皮膚腐食性・刺激性	データ不足のため分類できない。なお、SIDS (2004) には安息香酸ナトリウムの皮膚刺激性試験 (OECD TG 404) で刺激性なしとの報告があり、カリウム塩の本物質も刺激性がないと評価している。
眼に対する重篤な損傷・刺激性 呼吸器感作性又は皮膚感作性 生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 ガイダンスの改訂により「区分外」が選択できなくなったため、「分類できない」とした。本物質のデータはないが、安息香酸ナトリウムのデータは安息香酸カリウム塩のデータを代表し安息香酸ナトリウムのデータが利用可能であるとの記載 (SIDS (2004)) から、今回安息香酸ナトリウムの情報を分類に用いた。安息香酸のナトリウム塩は、in vivoでは、ラットの骨髄細胞を用いた染色体異常試験及びラットの優性致死試験で陰性、in vitroでは、細菌の復帰突然変異試験、培養ヒト胎児肺細胞の染色体異常試験で陰性、チャイニーズハムスターCHL細胞の染色体異常試験は-S9で陽性であることから変異原性はないとされている。以上より、本物質の変異原性はないと評価されている (SIDS (2004))。

発がん性	データ不足のため分類できない。本物質の発がん性データはない。なお、安息香酸ナトリウム (CAS:532-32-1)、ベンジルアルコール (CAS:100-51-6) のラット、マウスを用いた長期発がん性試験では発がん性は認められていない (SIDS (2004)、JECFA 557 (Access on September 2013))。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。なお、安息香酸ナトリウム塩 (CAS:532-32-1) では、発生毒性に関して、ラット、マウス、ウサギ、ハムスターを用いた経口経路(強制)の発生毒性試験において、母動物毒性、発生毒性ともにみられていない (SIDS (2004))。生殖能に関する試験の報告はない。
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	データ不足のため分類できない。なお、安息香酸ナトリウム塩 (CAS:532-32-1) やベンジルアルコール (CAS:100-51-6) に関しては、4時間の吸入ばく露(粉じん又はミスト、4-12mg/L)により明確な毒性影響はみられなかったとの記載がある (SIDS (2004))。
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	データ不足のため分類できない。なお、安息香酸ナトリウム塩 (CAS:532-32-1) に関しては、ラット90日間混餌投与及びマウス35日間飲水投与試験において、区分2のガイダンス値範囲外の高用量 (1,167-3,145 mg/kg/day) ばく露でも毒性影響はみられず (SIDS (2004))、経口経路では区分外相当である。
吸引性呼吸器有害性	該当情報なし。
12. 環境影響情報	急性: 該当情報なし。
生態毒性	長期間: 該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生態蓄積性	該当情報なし。
土壌中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	<p>国内規制</p> <p>陸上輸送 海上輸送 航空輸送</p> <p>輸送または輸送手段に関する特別の安全対策</p> <p>応急措置指針番号</p> <p>消防法・毒劇法の規定に従う。 船舶安全法の規定に従う。 航空法の規定に従う。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 該当しない。</p>
15. 適用法令	非該当
化学物質管理促進法(PRTR法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
消防法	非該当
16. その他の情報	<p>引用文献</p> <p>NITECLIP(製品評価技術基盤機構HP) 職場の安全サイト(厚労省HP) 記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。</p>